

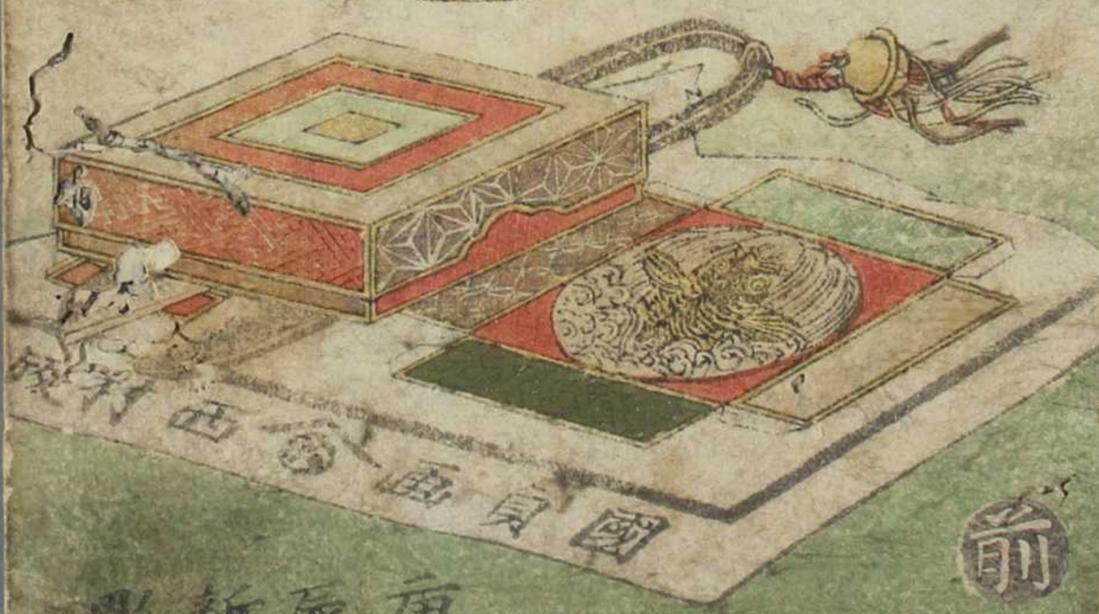
四百六十六

貴重書



繪操二面鏡

種彦作



庚辰新版

特別  
196

24  
4



40. 8. 26

Y306531



天正天皇御  
永壽堂製本

奴煙草  
田島屋  
物夏

# 二面鏡

全六冊

柳亭種彦作  
歌川國貞画

西村屋與八梓

類向の洋物  
世界の歌舞妓

# 畫傀儡二面鏡 全六冊

凡例

○藝流供奉志小肉傀儡といふ事あり是肉皮以傀儡小かあるといふ  
意あり童子芝居の類なり一此冊子も畫を以て木俣了かん

○冊子此地の專淨瑠璃小倣へど人乃詞小いりて之居乃正本と

○出入漆歌念佛娘扇等乃人名或假用す且強その趣向

文政 二年 卯夏稿成  
三年 辰春發販

柳亭種彦誌



二面鏡二葉ハ  
此冊子の外ハ  
二面鏡二編目ハ  
首と尾との区

此冊子の外ハ  
二面鏡二編目ハ  
首と尾との区



田島屋之左衛門  
養子清七郎

六の巻  
鳳巾御賣  
春風の和



田島屋娘  
於夏

田島屋

大心切の二面鏡編目  
八奉入存鏡

志村數之進の娘小三

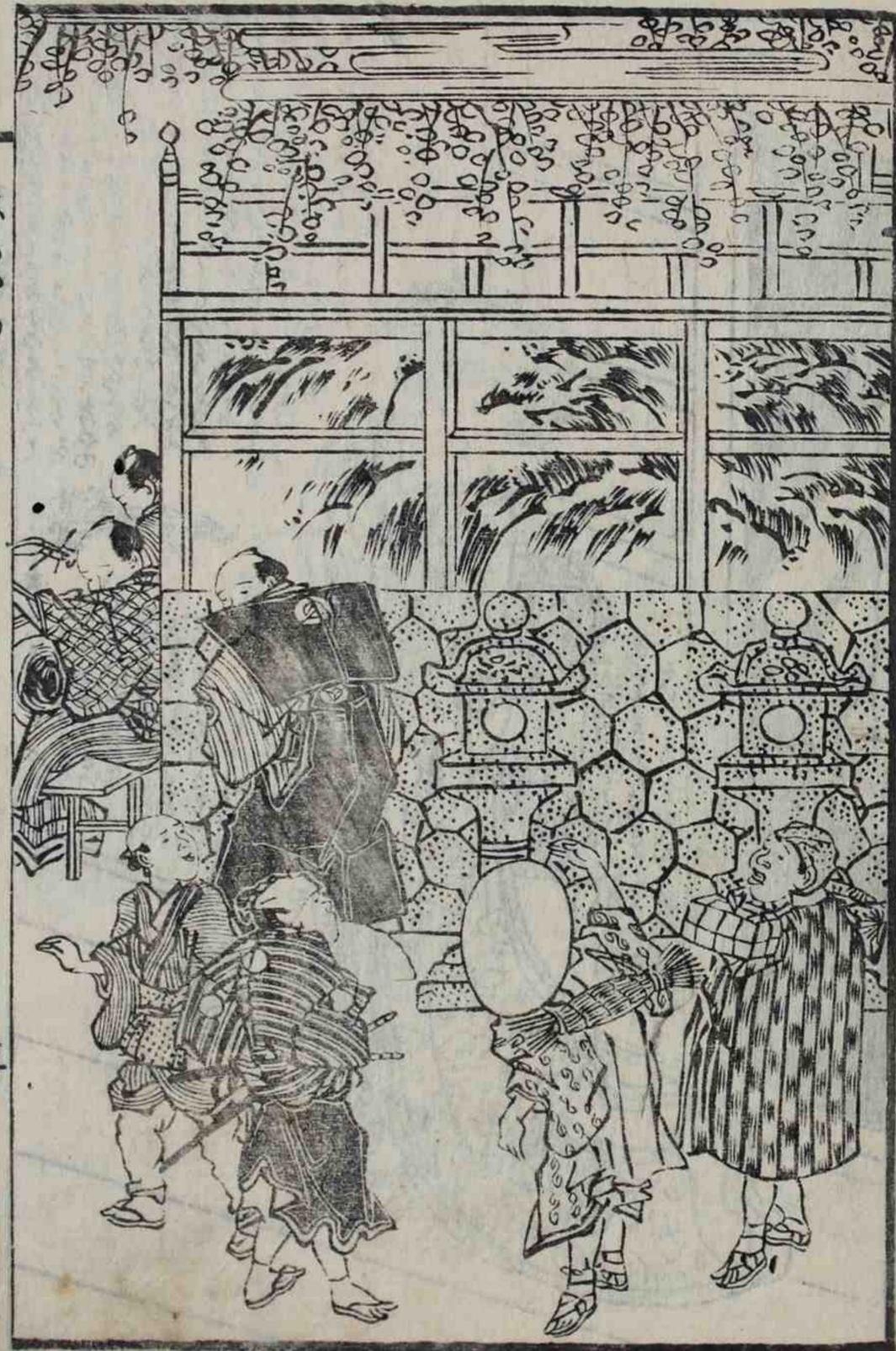


小餘綾家の近臣神備岸次郎

京都五條坂の傾城  
咲川太夫の幽魂









Handwritten text in the top section of the right page, consisting of several lines of vertical Japanese characters.



Handwritten text in the bottom section of the right page, continuing the vertical Japanese characters.

Handwritten text in the top section of the left page, consisting of several lines of vertical Japanese characters.



Handwritten text in the bottom section of the left page, continuing the vertical Japanese characters.



此の物語は、  
 江戸の浮世草子  
 といふものなり  
 其の趣は、  
 人情の世に  
 ありて、  
 世の常を  
 諷刺するに  
 在り。其の  
 筆は、  
 筆名を以て  
 知らるる。



此の物語は、  
 江戸の浮世草子  
 といふものなり  
 其の趣は、  
 人情の世に  
 ありて、  
 世の常を  
 諷刺するに  
 在り。其の  
 筆は、  
 筆名を以て  
 知らるる。

此の物語は、  
 江戸の浮世草子  
 といふものなり  
 其の趣は、  
 人情の世に  
 ありて、  
 世の常を  
 諷刺するに  
 在り。其の  
 筆は、  
 筆名を以て  
 知らるる。



夫は、  
 江戸の  
 浮世草子  
 といふものなり  
 其の趣は、  
 人情の世に  
 ありて、  
 世の常を  
 諷刺するに  
 在り。其の  
 筆は、  
 筆名を以て  
 知らるる。

此の物語は、  
 江戸の浮世草子  
 といふものなり  
 其の趣は、  
 人情の世に  
 ありて、  
 世の常を  
 諷刺するに  
 在り。其の  
 筆は、  
 筆名を以て  
 知らるる。











Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, located at the top of the left page.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or additional notes.

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, continuing the script or commentary.



Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or additional notes.



文

圖書

年度

文

L

3